

企画書

名称	東京YWCA 110周年(2006年度～2015年度)記念誌の作成
目的	社会状況、東京YWCAともに大きな変化のあった2006年度から2015年度迄の10年に焦点をあて、東京YWCAの歩みを記録することを目的とする。
背景	<ul style="list-style-type: none">・東京YWCAは、創立100周年である2005年度以降準備を進め、2011年4月1日より公益財団法人に移行し、大きな変化の時期を迎えた。一方、社会的には東日本大震災による津波と原発事故の甚大な被害、憲法改悪に向かう危機的状況が進むなど、まさに平和の実現とは真逆の状況を呈するようになっている。東京YWCAはその中であって変えるべきこと、変えてはならないこと、そしてYWCAの果たすべき役割は何かを問いつつ、会員・職員ともに事業継続への努力を続けてきた。この変革期のうごきを、YWCAの将来展望を描くうえでも記録として残したいと考えた。・加えて、東京YWCA会員の高齢化が進む中、戦後70年を迎え、戦争体験を次世代に継承するために現段階でその記録を残しておくことが必要な時期であると考えた。
内容	<ol style="list-style-type: none">①10年の動きの総括 ～公益法人制度改革を経て～②2015年度の重点課題ごとのテーマについてまとめる (平和憲法・反核、反原発・次世代育成・ファンドレイジング・キリスト教基盤)③東京YWCAの現在の事業の紹介 組織図④「私の戦争体験」(会員の体験を伝える)⑤年表
体裁	A5サイズ50ページ程度
発行予定	2016年9月
発行部数	1000部 予算 40万円

公益財団法人東京YWCA

110周年記念誌プロジェクト

内山佳子(長)、浅原由美、柏木妙子、木村祥子、藤原聖帆、吉田夏子、渡邊由紀子
担当職員 尾崎裕美子